

(様式1)

校 種	小 ・ 中	学校番号	2 1	学校名	宇都宮市立若松原中学校
-----	-------	------	-----	-----	-------------

令和2年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤として、高い知識と豊かな心、たくましさを身につけ、地域社会や国家、世界に広く目を向けた人間を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ① 自ら学ぶ生徒
- ② 心豊かな生徒
- ③ たくましい生徒
- ④ 視野の広い生徒

2 学校経営の理念

テーマ 「あたたかい学校、活力のある学校、人の集まる学校」

生徒一人ひとりを目指す生徒像に近づけるためには、地域学校園の小中学校、家庭、地域が連携しながら、それぞれの力を発揮していくことが重要である。本校がその核としての役割を自覚し、関わる人々の希望となれるよう、目指す学校像（3つの柱）を掲げる。

- ・ 明るいきさつや花と緑にあふれ、互いに認め、励まし、称え合える、あたたかい学校
- ・ 地域社会や将来を見据え、子どものよさが十分に活かされる、活気のある学校
- ・ 生徒や教職員が誇りに思い、地域のコアとなり、地域に愛される、人の集まる学校

3 学校経営の方針

【若松原地域学校園教育ビジョン】

「つなげよう学び きたえよう心と体 共にのびようWGS学校園」

9年間の学校教育にかかわる教職員が、その思いと責任を共有し、連携して児童生徒の発達段階に応じた一貫性のある指導を継続的に実践する。

(1) あたたかい学校

- ・ 心の教育、望ましい人間関係づくりを図る
- ・ 学びやすい、生活しやすい環境を整備する
- ・ 花と緑を大切にしたい潤いある環境を整備する
- ・ 教職員の資質向上と健康管理に努める

(2) 活力のある学校

- ・ 学業指導の充実に努める
- ・ 積極的な生徒指導を推進する
- ・ 特別支援教育の視点を十分に生かす
- ・ 体力・気力の向上と健康教育を推進する

(3) 人の集まる学校

- ・ 生徒が楽しいと感じる学校づくりに努める
- ・ 地域の人材、資源を活用した教育を推進する
- ・ 職員が働き甲斐のある職場づくりに努める
- ・ 地域活動や災害時避難場所として活用する

4 教育課程編成の方針

新しい時代の到来を見据え、子どもたちが地域や国家・世界とのつながりの中で生活していることを自覚し、広い視野で物事を見て、考え、判断し、行動しようとする意欲と態度をもてるよう、教育課程と指導体制を工夫する。

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法及び学習指導要領の関係法令、及び県教育行政基本方針、市教育委員会管理運営規則、市学校教育スタンダードの示すところに従って編成する。
- (2) 地域や学校の実態を踏まえ、生徒の心身の発達段階や特性を十分考慮しながら、人間として調和のとれた育成を目指して特色のある教育課程を編成する。
- (3) 市の小中一貫教育の趣旨を生かし、学校教育全般にわたる教育活動の充実に努め、適切

な運用が図れるよう配慮して編成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（1）学校運営 ～教育目標の達成を目指すチーム学校づくり～

- ・生徒や家庭，地域，関係機関等と学校教育目標や学校経営の理念を共有し，その達成に向かう集団づくりの推進に努める。

○教職員が一丸となって学習指導や生徒指導にあたりるとともに，業務遂行の効率化を図る。

- ・学校の公開や情報発信を積極的に行いながら，地域のコアとして愛される，開かれた学校づくりの推進に努める。

（2）学習指導 ～子どもが意欲的に取り組む授業，学びに向かう集団づくり～

○主体的，対話的で深い学びを実現するための授業改善に努める。

- ・生徒の学習意欲の向上を図るための教材，教具の工夫改善に努める。
- ・学力の定着のために，家庭学習の習慣化と質の向上を図る。

（3）児童生徒指導 ～ともに成長できる集団づくりと自己指導能力の育成～

- ・共に課題に立ち向かい，互いに認め，励まし，称え合うことで，自他共に成長できる集団づくりを推進する。

- ・自ら考え，判断し，責任を持って実行できる自己指導能力の育成・向上を図る。

○全教職員の連携により，生徒一人一人に寄り添い，自己肯定感（自分のよさに気づく），自己有用感（活かそうとする）をはぐくむ教育相談に努める。

（4）健康（体力・保健・食・安全） ～強い体，折れない心，健康的な生活を目指して～

○基礎体力の向上と粘り強く取り組む意欲を養うための指導方法を工夫改善する。

- ・自他の生命や心の健康を大切にし，安全で豊かな生活を送れるよう，全教科領域でカリキュラムマネジメントを推進する。
- ・防災教育を推進し，危機に対応できる能力の育成を図る。

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

（1）育てたい資質・能力

「広い視野」を合言葉に，現代社会の課題を自らの問題ととらえ，持続可能な社会実現のため，身近なところから取り組み解決しようとする態度と行動力。（E S D教育の推進）

（2）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

①地域と連携した学習活動の推進

◇魅力協と連携して開設した「地域未来塾」による学習支援の定着化。

- ・小学校，P T A，魅力協，自治会等との連携によるあいさつ運動による人間関係の育成。

②自ら考え，行動する生徒会活動の推進

◇「ビックリーン」「リトルクリーン作戦」の効果的な実施と，高齢者福祉施設や塚山古墳などの地域施設，小学校や地域の行事等を活用した，福祉・奉仕活動の展開。

◇国際交流団体等との連携による，国際理解，自国理解，地域理解の深化。

8 本市の重点施策・事業との関連

（1）地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

- ・地域の教育力を生かし，地域と連携・協働した教育活動を推進することで，生徒の豊かな

心の醸成に努める。

②主な取り組み

- ・あいさつ運動
- ・緑化活動
- ・高齢者との交流
- ・防災訓練

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え方

- ・地域学校園教育ビジョンの具現化を図るため、教職員がその思いと責任を共有し、発達段階に応じた一貫性のある指導を継続的に実践する。

②主な取り組み

- ・カリキュラムマネジメントによる学力向上
- ・WG Sあいさつ運動
- ・小学校行事等へのボランティア協力

(3) 不登校対策

①基本的考え方

- ・生徒情報を全職員が共有し、初期対応の充実を図るとともに、一人ひとりの状況に応じた適切な対応に努める。

②主な取り組み

- ・教育相談部会の充実
- ・別室対応の充実
- ・学習，評価の工夫
- ・SC・MS，関係機関との連携強化